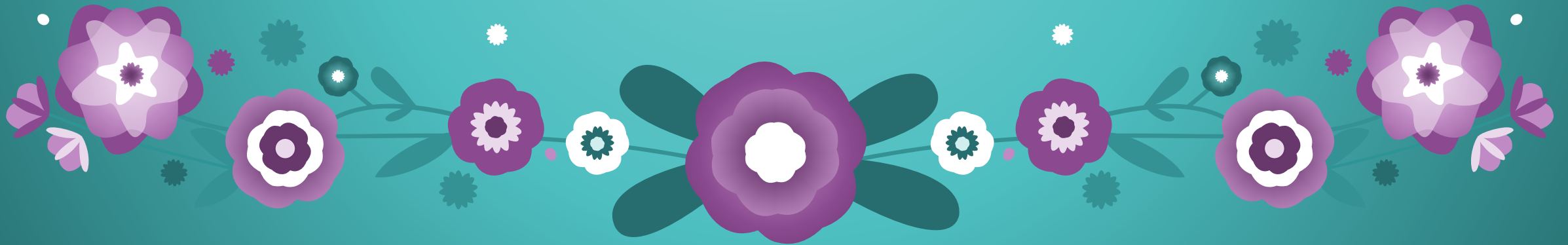


NPO法人  
女性エンパワーメントセンター福岡



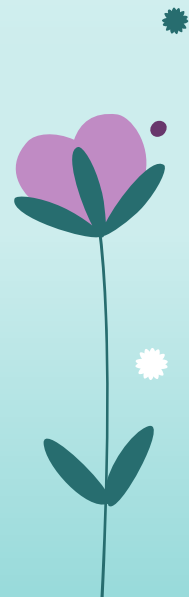
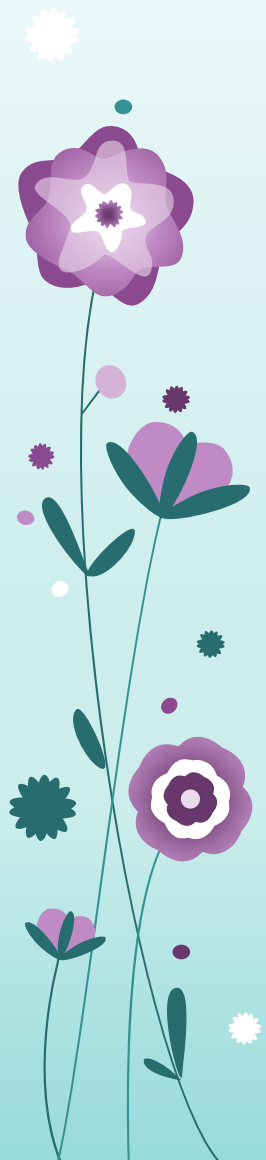
# 活動紹介

## 3つの柱

I. 女性への暴力防止と支援

II. 国際協力と平和の活動

III. 移住女性の支援



# I. 女性への暴力防止と支援

## ◆女性と子どものためのシェルター

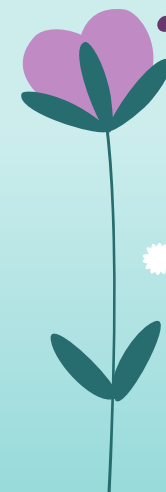
...夫や家族からの暴力（DV）など様々な理由で、住居を失った女性と子どもたちのシェルター（一時避難所）を設けています。

関係機関と連携し、心身の健康と安全面、生活面、離婚など法律面から、自立を支援します。

## II. 国際協力と平和の活動

### ◆フェアトレード・自立支援と交流

...フィリピン、タイ、インドネシア、ネパールの  
女性と子どもたちの手づくり品を展示販売し、  
自立を支援しています。



# III. 移住女性の支援 (1)

## ◆アジアの女性に学ぶ多言語教室

移住女性への就労支援として、彼女たちの母国語を教えてもらっています。

言語：中国語、韓国語、英語、タイ語、インドネシア語、ロシア語、スペイン語

受講生：19名





## Ⅱ. 移住女性の支援 (2)

### ◆日本語教室サポート

都市圏以外にも多くの移住女性生活しているが、日本語教室は少ないため、  
農村地域での日本語教室開講 + 運営をサポートしています。

(朝倉・糸島・うきは・中間・田川  
直方・宗像・柳川・行橋・八女)



## Ⅱ. 移住女性の支援 (3)

### ◆2018年度福岡市NPO活動推進補助金事業 ①多言語での電話相談実施

2018年8月～2019年3月

141件の電話相談

ポルトガル語：68件

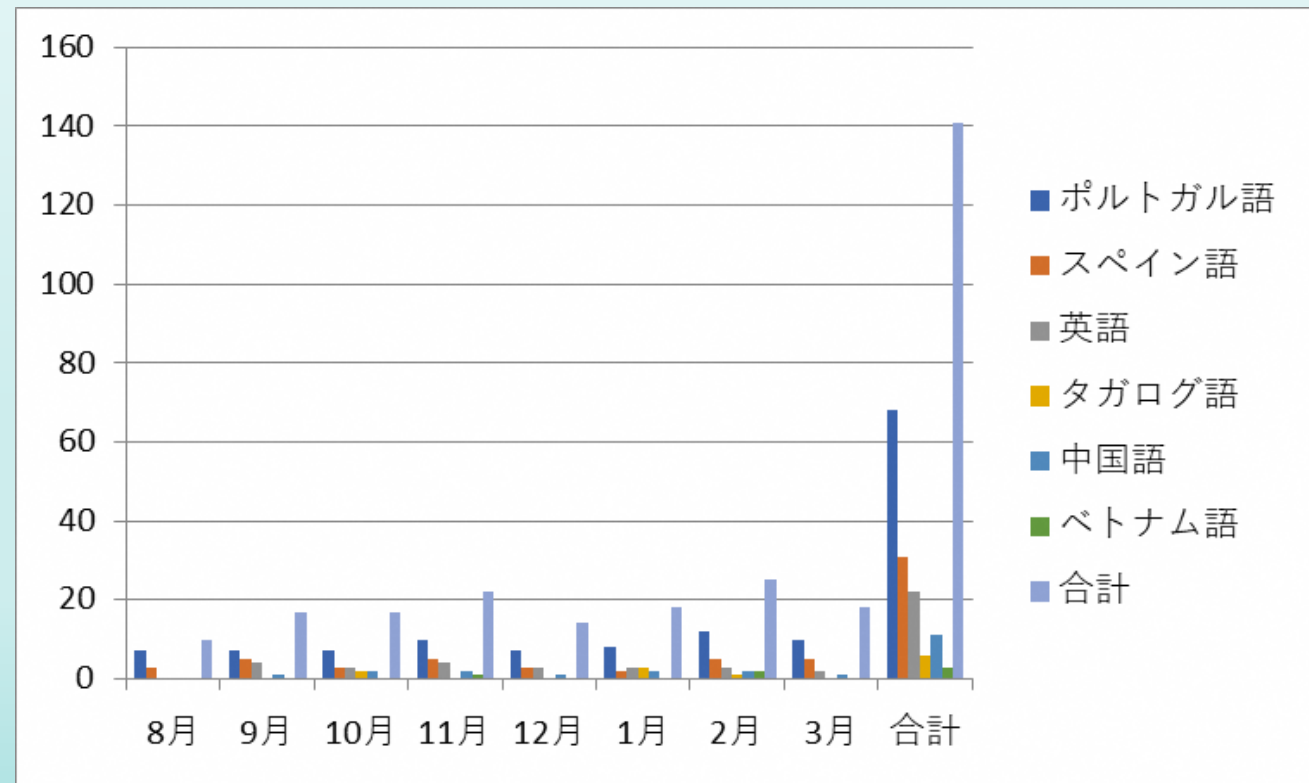
スペイン語：31件

英語：22件

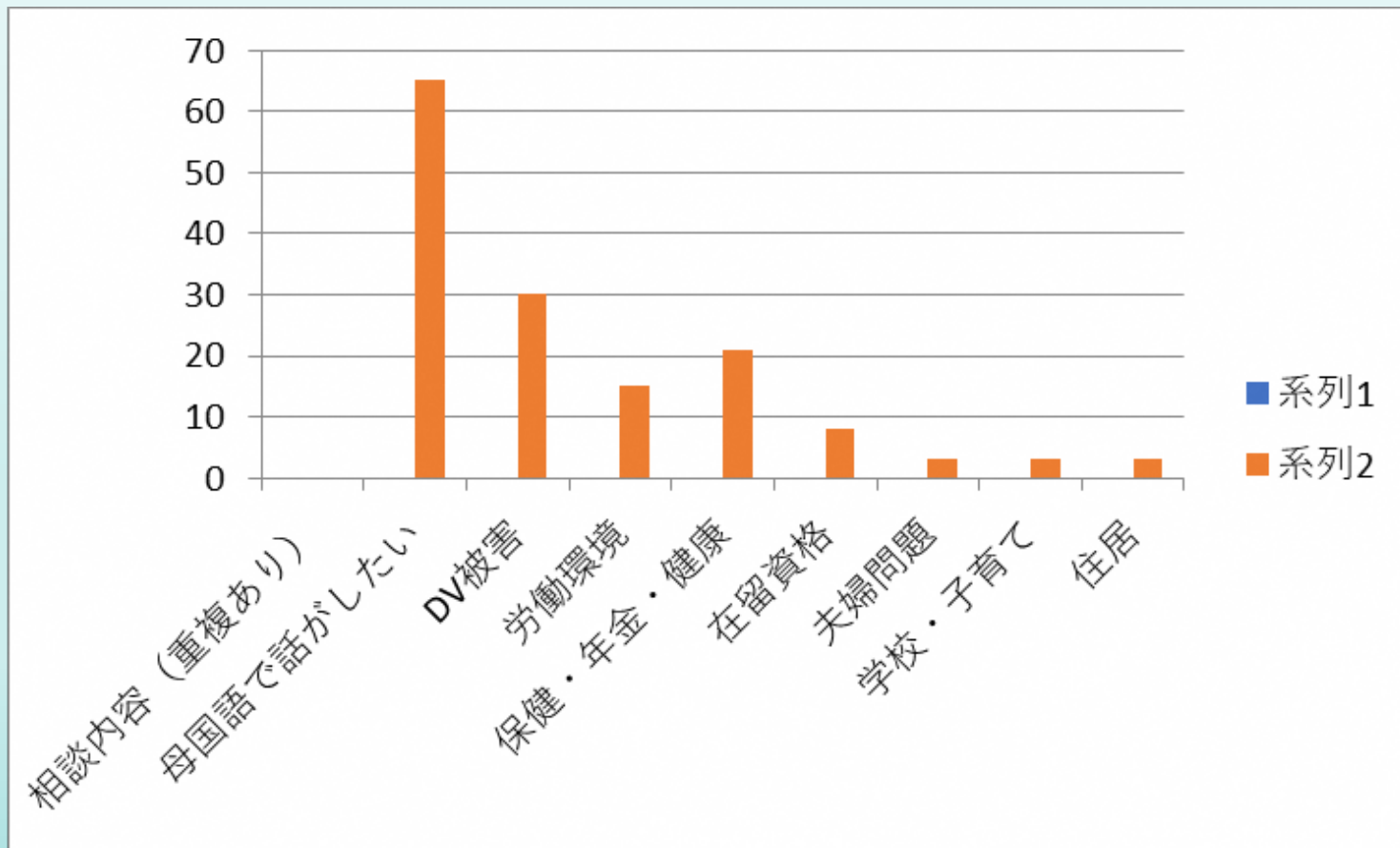
中国語：11件

タガログ語：6件

ベトナム語：3件



# 電話での相談内容



- \* 周りに母国語で気軽の話のできる人がいない、孤立した移住者の存在
- \* 外国籍住民には複雑な保健制度
- \* 労働力不足を補う外国籍住民

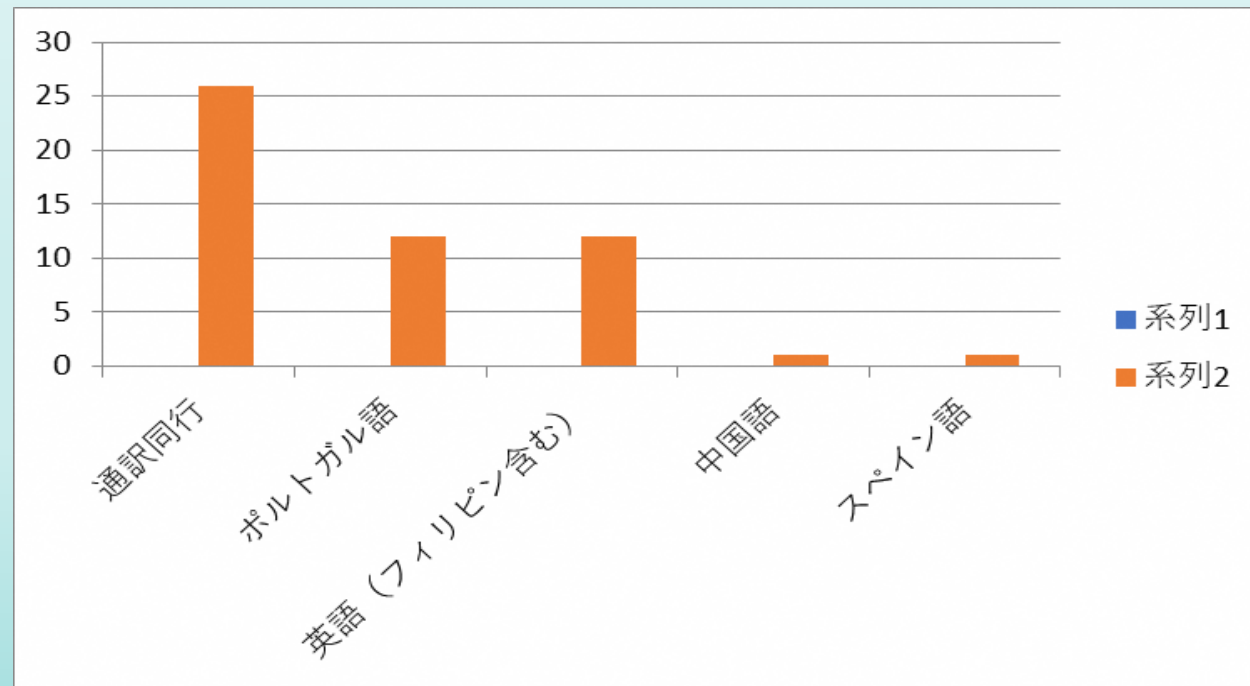


## Ⅱ. 3. 移住女性の支援

### ◆2018年度福岡市NPO活動推進補助金事業 ②コミュニティ通訳派遣

コミュニティ通訳：外国籍住民が生活する中で必要とされる通訳

(役所、学校、病院など)



# 同行理由

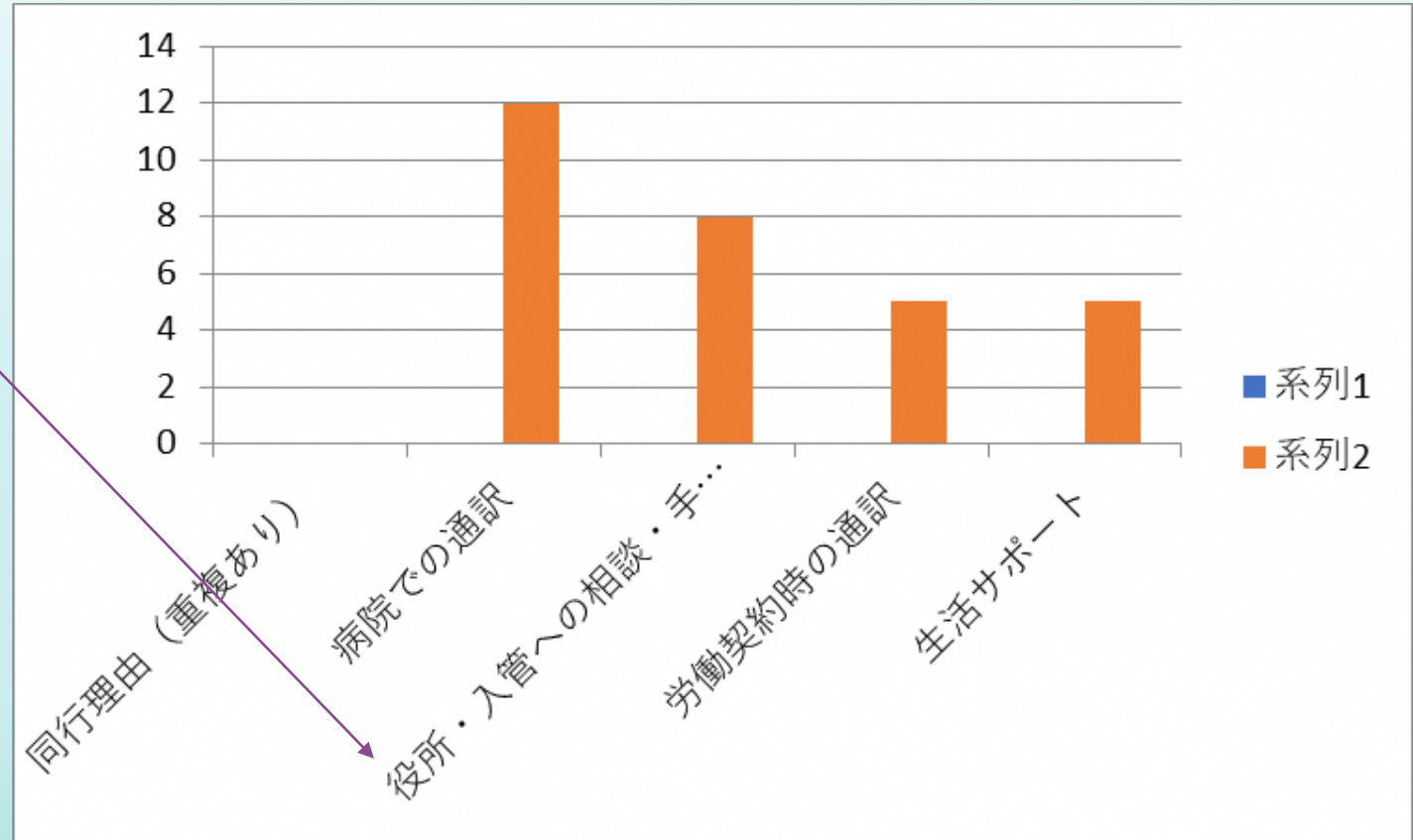
\* 病院に行きたくても、日本語を話せないため行けなかった

\* シェルター入居者への支援

\* 日本人男性と結婚すると「日本人の配偶者」としての在留資格

→離婚すると日本に住めない?!

(DV被害者として証明されれば「定住者」、子供がいれば子の養育者として「定住者」への変更可



# 依頼者の声

- 日本語を十分に理解できないため、これまでは、書類に何が書いているのかもわからないままサインすることが多かった。今回は内容を理解できたので、安心してサインもできた。

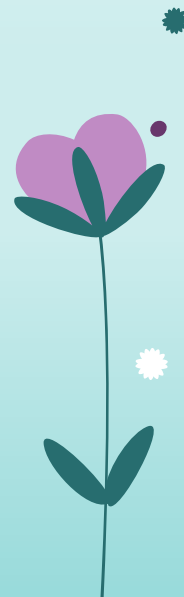
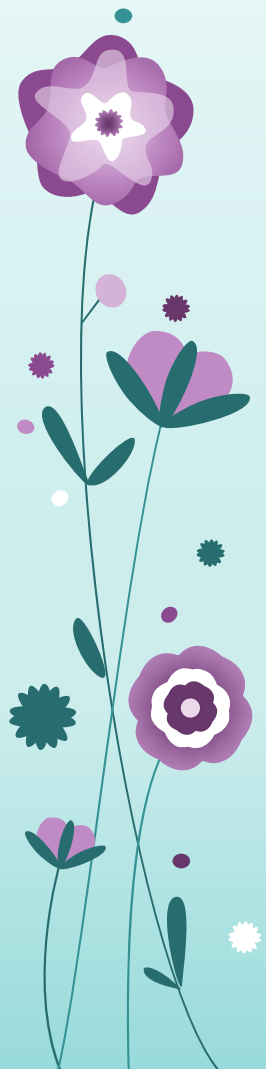
(ブラジル出身女性40代)

- 週に一回母国語でちょっとしたおしゃべりをする相手がいることで、少し不安はやわらぐ。

(ブラジル出身男性50代)

- 夫に勝手に離婚届を出され、家からも追い出されてしまい、どうしたらいいかわからなかった時に、助けてくれてとても感謝している。

(フィリピン出身女性30代)



2003年6月、天神に小さな事務所を借りて、女性エンパワーメントセンター福岡はスタートしました。

そして、16年。アジアや世界の女性とつながりながら活動を広げてきました。

今後は、従来の緊急支援（相談、通訳同行、シェルター）はもちろんのこと、女性たちの力を引き出し活かす共生循環(エンパワーメント)を大切にしながら、そして、女性の人権が尊重され、多様な人々が共に生きる地域と世界を目指して、一歩ずつ歩んでまいります。

今後ともご支援ご協力よろしくお願い致します。

NPO女性エンパワーメントセンター福岡 スタッフ一同



**会員、絶賛募集中！**